ステークホルダーの皆様へ

株主・投資家様、お客様、お取引先様、地域社会の皆様には、日頃からご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。Nittoグループを代表して、2014年度のご報告と2015年度の方針をお伝えします。

2014年度業績について

2014年度における経済環境は、米国では企業業績の回復や個人消費の増加、雇用環境の改善などで堅調に推移しましたが、欧州や中国では緩やかな回復に留まりました。日本では、消費税増税前の駆け込み需要の反動で個人消費が減速したものの、企業収益の改善や設備投資の拡大など回復傾向がみられました。

Nittoグループは常にお客様を第一に考え、新しいものを生み出し続けるとの思いを込めたブランドスローガン「Innovation for Customers」のもと、変化する環境に素早く対応するための構造改革と新たな事業の創出に取り組みました。主力のエレクトロニクス業界ではスマートフォン市場の拡大に対し、情報機能材料の薄型光学フィルムによる新たな価値を提供しました。

自動車材料では「三新活動」と呼ぶ、新用途開拓、新製品開発、新需要創造の三つの「新」を掲げたマーケティング活動がグローバルに成果を上げました。また、中長期での成長を目指しているメディカル分野では、分子標的ドラッグ・デリバリー・システム技術を用いた肝硬変治療薬において2014年9月から米国で患者様への治験を開始し、今後の事業化に向け着実に計画が進展しています。

売上高（売上収益）は8,252億円（2013年度比10.1%増）、営業利益は1,067億円（2013年度比47.2%増）となりました。2014年度より国際会計基準（IFRS）を適用しているため基準は異なりますが、売上高は2013年度の7,495億円、営業利益は2005年度の892億円のこれまでの最高記録をいずれも上回りました。

2015年度の取組み

2015年度の世界経済の見通しは、日本では企業の設備投資拡大が見込まれるものの、米国経済の減速懸念、欧州など一部地域での地政学的な不安定さ、さらには中国の成長率の鈍化など予断を許さぬ状況が予測されます。

このような中で、Nittoグループは既存領域における売上・利益の最大化および新規事業の展開を図りながら、グリーン（環境関連）、クリーン（新エネルギー）、ファイン（ライフサイエンス）領域における多軸展開による成長戦略を強化します。

エレクトロニクス業界向け製品については、スマートフォンやテレビ向け薄型偏光板のデファクトスタンダード化を目指すとともに、今後市場拡大が見込まれるウエアラブル端末への実績化を進めていく予定です。プリント回路においては、強みである、ファインピッチの回路製品を供給し、ハードディスクドライブの高容量化やスマートフォン用パネルの高精細化のニーズに応えます。

インダストリアルテープにおいては、欧米など市場が拡大する自動車業界向け製品の需要をしっかりと取り込みます。特に、カーエレクトロニクス分野ではエレクトロニクス業界で築いてきた技術やネットワークを活かして新たな価値提供を考えています。また、世界各地でエリア固有のニーズにマッチした製品の提供によりトップシェアを獲得するエリア・ニッチ・トップ™戦略では、トルコ発の紙おむつ用材料や米国発の航空機用材料などを次々に提案しながら新しいテーマを立ち上げます。

メディカル＆メンブレンにおいては、事業基盤の強化と並行して新分野への取組みを進めることで事業拡大を図ります。特にメディカルでは、日米で核酸医薬の受託合成ビジネスの拡大に注力します。

2015年度業績は、為替レート1US$＝118円を前提として売上高（売上収益）8,700億円、営業利益1,200億円を計画しています。

中期経営計画

2015年度から3か年の中期経営計画「Nitto-2017」を策定しました。最終年度の2017年度には、売上高1兆円、営業利益1,350億円を達成すべく新たな挑戦を開始します。Nittoは2018年10月に創立100周年を迎えますが、2017年度（2018年3月期）に売上高1兆円を達成して、100周年を迎える所存です。

Nitto-2017では、以下3つの点を重点項目として取り組みます。

1つめは「事業の成長」です。既存事業領域の売上・利益の最大化と同時に世界各地において、エリア・ニッチ・トップ™戦略に沿った製品を拡充します。グリーン、クリーン、ファインの領域では、多軸化戦略を中心に新たなテーマを推進します。この成長戦略を支えるために、3か年で設備投資2,000億円、M&Aや環境対策などの戦略的投資1,500億円の合計3,500億円の投資を予定しており、積極的かつ機敏な投資により持続的な成長を図ります。

2つめは「質の向上」です。安全を最優先する考えのもと、「事業の成長」と一体化した「質の向上」に取り組んでいきます。そのためにすべての部門・部署における生産性改革を行います。また、2015年度より日本で適用されるコーポレートガバナンス・コードを適切に導入、実践することで企業価値を高めます。これらにより将来にわたってステークホルダーの皆様に満足いただける企業を目指します。

3つめは「人財の成長」です。Nittoグループが世界で成長し続けるためには、事業遂行能力のみならずNittoの企業価値や企業文化を理解し、お客様の価値創造に貢献できる人財が必要です。Nittoグローバル・ビジネス・アカデミー（NGBA）などの教育プログラムにより、国籍や性別にかかわらず次世代リーダーとなる人財を育成します。多様な人財が、個々のスキルを最大限に発揮して世界中で活躍する企業を目指します。

利益配分方針

Nittoグループは、株主の皆様への利益還元を、経営の最重要課題の一つとして位置付けています。配当金につきましては、「ものづくり」をする会社として、研究・開発、生産に関わる積極的な先行投資などの必要性、そして財務状況、利益水準、配当性向などを総合的に勘案します。

2014年度につきましては、過去最高の利益水準を達成したことを踏まえ、期末配当を1株につき65円、年間配当は120円と2013年度比で1株あたり20円の増配とさせていただきました。また、2015年度の年間配当は利益状況と設備投資などを総合的に勘案して、2014年度比で1株あたり10円の増配となる130円を予定しています。

企業の社会的責任を果たすために

Nittoグループは、社会から信頼され未来に向かって成長し続ける100年企業を目指しています。

企業は、事業を通じて社会や地球環境に貢献することが第一の使命であり、すべてのステークホルダーの皆様に必要とされる価値を提供することが求められます。もちろん、それはルールや企業倫理にかなった活動に基づいて得られるものでなければなりません。

私は、Nittoグループに従事する一人ひとりの誠実な行動こそが、そのような価値を提供するための重要な要素であると考えます。その積み重ねによって、社会的責任を全うし持続的に成長する企業であり続けることができると信じています。

Nittoグループは、ステークホルダーの皆様に安心・安全を提供するための積極的な資源投入、多様性を重視して従業員がお互いを認め尊重しあう文化の醸成、そして、経営理念のもと社会的責任を果たせる人財の育成に取り組みます。

ステークホルダーの皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご指導をいただきますようお願い申し上げます。

日東電工株式会社
代表取締役 取締役社長　高崎秀雄